

レジメンコード	レジメン名	コメント
08A0001a	胚細胞腫瘍BEP(APR)	CDDP:20mg/㎡ day1-5 ETP:100mg/㎡ day1-5 BLM:30mg/body day2,9,16 3w毎 3-5クール行う 前回までのクールで好中球減少性発熱があればETPを20%減量する BLMの総投与量は360mgまで
08A0002	胚細胞腫瘍VIP (APR)	IFO:1.2g/㎡ day1-5 ETP:75mg/㎡ day1-5 CDDP:20mg/㎡ day1-5 3w毎 day22に好中球 $\leq$ 1000orPLT $\leq$ 2.5万なら次サイクル延期 day22に好中球 $\leq$ 3000orPLT $\leq$ 10万なら次サイクルのIFO,ETPを25%減量 Ccr40mL/min以上で開始(100%投与) Ccr40mL/min未満ならCDDPをCDGPに変更
08A0003	胚細胞腫瘍CPT-11+NDP	CPT-11:150mg/㎡ day1,15 NDP:100mg/㎡ day1 4w毎 CPT-11投与時、半夏瀉心湯7日間併用のこと
08A0005	胚細胞腫瘍TIP	IFO:1.5g/㎡ day2-5 PTX:210mg/㎡ day1 CDDP:25mg/㎡ day2-5 3w毎 day22に好中球 $\leq$ 450またはPLT $\leq$ 7.5万なら次サイクル延期
08A0006	胚細胞腫瘍TIN	IFO:1.5g/㎡ day2-5 PTX:210mg/㎡ day1 CDGP:100mg/㎡ day2 3w毎 day22に好中球 $\leq$ 450またはPLT $\leq$ 7.5万なら次サイクル延期
08A0007	胚細胞腫瘍GEM+L-OHP	GEM:1000mg/㎡ day1,8 L-OHP:130mg/㎡ day1 3w毎 day8に好中球が1000-1500または血小板が5万-10万のときはGEMを75%に減量する。 好中球が1000以下または血小板が5万以下のときはGEMは投与しない。 day8を投与しなかった場合には、day15から次のcycleの投与を考慮する。 Day22に好中球<1500または血小板<7.5万の場合、次cycleは延期する。
08A0010	【適外】胚細胞腫瘍HD-ICE(APR)	CBDCA:250mg/㎡ day1-5 IFO:1.5g/㎡ day1-5 ETP:300mg/㎡ day1-5 4w毎 ETP原液のため、シリコン製ルートを使用すること(ポリウレタン製禁)
08B0005	尿路上皮CDDP+RT	CDDP:20mg/㎡ RT開始後5日間,RT終了前5日間 RTのスケジュールに沿って最初と最後の5日間に投与する (33日間RTをするならday1-5,day29-33) Ccr40mL/min以上で開始(100%投与)
08B0007	尿路上皮CG療法 (APR)	CDDP:70mg/㎡ day1 GEM:1000mg/㎡ day1,8 3w毎 Ccr40mL/min以上で開始(100%投与) Ccr40mL/min未満ならCDDPをCDGPに変更
08B0007a	尿路上皮CG療法 (4週毎、APR)	GEM:1000mg/㎡ day1,8,15 CDDP:70mg/㎡ day2 3w毎 Ccr40mL/min以上で開始(100%投与) Ccr40mL/min未満ならCDDPをCDGPに変更
08B0007AE	尿路上皮CG療法 (APR)(副作用予防)	CDDP:70mg/㎡ day1 GEM:1000mg/㎡ day1,8 3w毎 Ccr40mL/min以上で開始(100%投与) Ccr40mL/min未満ならCDDPをCDGPに変更
08B0008	尿路上皮CDDP+5FU+RT	5FU:600mg/㎡ CDDP:20mg/㎡ RT開始後5日間,RT終了前5日間 RTのスケジュールに沿って最初と最後の5日間に投与する (33日間RTをするならday1-5,day29-33) day22に好中球<1500またはPLT<10万で延期
08B0011	尿路上皮GN療法 (3週毎)	GEM:1000mg/㎡ day1,8 CDGP:70mg/㎡ day2 3w毎
08B0011AE	尿路上皮GN療法 (3週毎) (副作用予防)	GEM:1000mg/㎡ day1,8 CDGP:70mg/㎡ day2 3w毎
08B0012	尿路上皮TIN療法	IFO:1.5g/㎡ day1-3 PTX:175mg/㎡ day1 CDGP:70mg/㎡ day1 4w毎
08B0015	尿路上皮THP膀胱	THP:30mg/body day1 投与方法は単回注入、または維持投与。 1-2時間、膀胱内に保持する。維持投与の場合、週1回を複数回投与する。 (投与回数に関しては規定しない)
08B0016	尿路上皮GEM+RT	GEM 100mg/㎡ day1 1w毎 放射線治療と併用 投与基準:WBC>2000/ μ L、PLT>10万/ μ L
08B0016AE	尿路上皮GEM+RT(副作用予防)	GEM 100mg/㎡ day1 1w毎 放射線治療と併用 投与基準:WBC>2000/ μ L、PLT>10万/ μ L

08B0017	尿路上皮TIN療法(中枢)	IFO:1.5g/㎡ day1-3 PTX:175mg/㎡ day1 CDGP:70mg/㎡ day1 4w毎
08B0018	尿路上皮ベムプロリズマブ(200mg/body)	ベムプロリズマブ:200mg/body day1 3w毎 *適応患者:化学療法後に増悪した切除不能尿路上皮癌
08B0019	尿路上皮GEM+CBDCA(3週毎、APR)(腎機能障害)	GEM:1000mg/㎡ day1.8 CBDCA:AUC=4.5 day1 3w毎 ※CDDP、CDGP不耐患者に使用
08B0019AE	尿路上皮GEM+CBDCA(3週毎、APR)(腎機能障害、副作用予防)	GEM:1000mg/㎡ day1.8 CBDCA:AUC=4.5 day1 3w毎 ※CDDP、CDGP不耐患者に使用
08B0022	尿路上皮ベムプロリズマブ(6週毎)(400mg/body)	ベムプロリズマブ:400mg/body day1 6w毎 *適応患者:化学療法後に増悪した切除不能尿路上皮癌
08B0023	尿路上皮アベルマブ	アベルマブ:10mg/kg day1 2w毎 *適応患者:根治切除不能尿路上皮癌における化学療法後の維持療法
08B0024	尿路上皮エンホルツマブ ベドチン	エンホルツマブ ベドチン:1.25mg/kg day1,8,15 4w毎 体重100kgを上回る患者は100kgとして算出する(最大用量125mg)
08C0005	前立腺Cabazitaxel+PSL	Cabazitaxel:25mg/㎡ day1, PSL(経口):10mg/day day1-21 3週毎 PSLはプレドニゾロン5mgとして2錠分1朝食後 連日投与 Cabazitaxelの投与量が25mg/body未満の時、Rp4の生理食塩水を100mlに変更 Cabazitaxelの投与量が65mg/bodyを超えた時、Rp4の生理食塩水を500mlに変更
08C0011	前立腺docetaxel+PSL	docetaxel:75mg/㎡ day1 PSL:10mg/day day1-21 3w毎 docetaxelは70mg/㎡で投与されることが多い PSLはプレドニゾロン5mgとして2錠分2で連日投与
08C0012	前立腺docetaxel(毎週)+ECT	docetaxel:25mg/㎡ day2.9 ECT:280mg/回(1日2回)day1-3,8-10 DEX:0.5mg/回(1日2回)day1-21 3w毎
08C0013	前立腺docetaxel単剤	docetaxel:75mg/㎡ day1 3w毎
08C0015	前立腺導管CG療法(3週毎、APR)	GEM:1000mg/㎡ day1.8 CDDP:70mg/㎡ day2 3w毎 Ccr40mL/min以上で開始(100%投与) Ccr40mL/min未満ならCDDPをCDGPに変更
08C0015AE	前立腺導管CG療法(3週毎、APR)(副作用予防)	GEM:1000mg/㎡ day1.8 CDDP:70mg/㎡ day2 3w毎 Ccr40mL/min以上で開始(100%投与) Ccr40mL/min未満ならCDDPをCDGPに変更
08E0003	陰茎TIP療法	IFO:1.2g/㎡ day1-3 PTX:175mg/㎡ day1 CDDP:25mg/㎡ day1-3 3w毎 day22に好中球<1400または血小板<10万の場合、次サイクルは延期する。
08E0006	副腎EDP+ミトタン(APR)	ADR:40mg/㎡ day1 ETP:100mg/㎡ day2-4 CDDP:40mg/㎡ day3,4 4w毎 ※ミトタンカプセルは、1～2Cap1日3回から開始し、有効量まで漸増し、 血中・尿中ステロイド濃度、副作用等により適宜増減する(中止することもある)。
08E0007	【適外】副腎GEM+カベシタピン+ミトタン	カベシタピン:1500mg/body 連日 GEM:800mg/㎡ day1.8 3w毎 ※ミトタンカプセルは、1～2Cap1日3回から開始し、有効量まで漸増し、 血中・尿中ステロイド濃度、副作用等により適宜増減する(中止することもある)。
08E0007AE	【適外】副腎GEM+カベシタピン+ミトタン(副作用予防)	カベシタピン:1500mg/body 連日 GEM:800mg/㎡ day1.8 3w毎 ※ミトタンカプセルは、1～2Cap1日3回から開始し、有効量まで漸増し、 血中・尿中ステロイド濃度、副作用等により適宜増減する(中止することもある)。
08F0001	腎トーリセル	トーリセル:25mg/body 1w毎
08F0006	腎ニボルマブ(240mg/body)	ニボルマブ:240mg/body day1 2w毎

08F0007	腎ニボルマブ(240mg/body)+イビリムマブ(1mg/kg)	ニボルマブ:240mg/body day1 イビリムマブ:1mg/kg day1 3w毎 ※併用4コース終了3週間後から、ニボルマブ単独(240mg/body)(2w毎)投与を繰り返す
08F0008	腎ベムブロリズマブ(200mg/body)+アキシチニブ	ベムブロリズマブ:200mg/body day1 3w毎 *適応患者:根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対する1stライン治療 アキシチニブ10mg 分2経口投与併用 ※アキシチニブ20mg分2まで増量可
08F0009	腎アベルマブ+アキシチニブ	アベルマブ:10mg/kg day1 2w毎 *適応患者:根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対する1stライン治療 アキシチニブ10mg分2経口投与併用 ※アキシチニブ20mg分2まで増量可
08F0010	腎ベムブロリズマブ(6週毎)(400mg/body)+アキシチニブ	ベムブロリズマブ:400mg/body day1 6w毎 *適応患者:根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対する1stライン治療 アキシチニブ 10mg 分2経口投与併用 ※アキシチニブ20mg分2まで増量可
08F0011	腎ニボルマブ(4週毎)(480mg/body)	ニボルマブ:480mg/body day1 4w毎
08F0012	腎ニボルマブ(240mg/body)+カボザンチニブ	ニボルマブ:240mg/body day1 2w毎 *適応患者:根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対する1stライン治療 カボザンチニブ40mg1日1回空腹時 連日経口投与併用
08F0013	腎ニボルマブ(4週毎)(480mg/body)+カボザンチニブ	ニボルマブ:480mg/body day1 4w毎 *適応患者:根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対する1stライン治療 カボザンチニブ40mg1日1回空腹時 連日経口投与併用
08G0001	膀胱CDDP+ETOP(APR)	CDDP:80mg/m ² day1 ETOP:100mg/m ² day1-3 3w毎 放射線同時併用療法を行うこともある
08I0001	泌尿器CDDP(APR)	CDDP:20mg/m ² day1-5 3w毎 Ccr40mL/min以上で開始(100%投与)
13D0002	胚細胞性腫瘍CBDCA+ETOP	CBDCA:450mg/m ² day1 ETOP:150mg/m ² day1-3 4-5w毎 放射線同時併用療法を行うこともある